

【予算特別委員会】

令和2年度養老町一般会計補正予算

問 令和2年度ふるさと応援基金積立金の額は。

答 積立金は7億8350万円である。なお、寄附金見込額9億7500万円のうち、充当先が指定されている1億9150万円を除いた額である。

問 新型コロナウイルス感染症対策事業（小中学校保健衛生）の内容は。

答 県の時短要請に伴う町の負担分である。内訳は2月8日から28日間について、1日当たり6万円の5%分が65件分想定している。



問 新型コロナウイルス感染症対策事業（経済対策）546万円の内容は。

答 主にそよかせ教室の利用が増加しており、支援者60人程度の利用回数が、月7回程から8回に増えたため。

令和2年度 養老町 立食肉事業センター 特別会計補正予算

問 県内産牛放射性物質の検査方法は。

答 屠畜された肉からサンプルをとり、専用の容器に入れて機械にかける検査方法。なお、県では放射性物質はほとんど検出されていないため、令和2年3月末で事業が廃止された。

ト使用料月額2万円、年26万4000円（消費税込み）。オンラインシステム使用料月額5万3500円、年70万6200円（消費税込み）。

問 地域自治町民会議設立事業109万4000円について、養老地区、室原地区の内訳は。

答 養老地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費32万2000円、事務局運営費10万円、合計62万2000円。室原地区は設立交付金が20万円、地域まちづくり計画策定事業費が17万2000円、事務局運営費10万円、合計47万2000円。

答 機器の種類はコンデンサと蛍光灯安定器。運搬先は豊田市。費用はコンデンサは約85kgで約100万円、安定器は約380kgで約1100万円。処理期限は令和3年度末まで。

問 福寿荘運営費を増額した意図は。

答 めぐみ集会所を用途廃止し、近隣の福寿荘を代替施設とするもの。

問 乳幼児等医療費が16歳から18歳まで無償化となるが、対象人数は。

答 令和3年度で799人。

問 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の町の体制は。

答 保健センターの保健師を中心に健康福祉課と合わせ8名でチームを組む。また、相談窓口を2階研修室に設け、他課応援2名、4名体制で相談や予約などを受け付ける。

問 AIチャットボット97万円の具体的な内容は。

答 各種問い合わせに対する回答を自動化するとともに、回答のフォームを作り、各種行政手続きのうち定型化している手続きについてオンラインの申請化を図るもの。予算内訳については、AIチャットボット

問 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

答 庁舎 PCB処理の種類、運搬先、費用、処理期限は。

問 老人福祉センター指定管理事業費の内訳は。

答 消耗品34万円、水道光熱費471万6000円、修繕費10万円、通信費19万7000円、委託料601万7000円、賃借料22万7000円など、合計1159万7000円。うち社協の財源が70万4000円。なお、現在休館中であるが、再開時期については社協と協議する。

※1 チャット(会話)をAI(人工知能ロボット)が代行してくれるシステム
※2 PCBポリ塩化ビフェニル
※3 コンデンサとは電気を蓄えたり放出したりする電子部品。

問 斎苑の施設改修費を最小限とした判断の根拠や、広域化の議論の状況は。

答 業者が定めている火炉等長期修繕計画(10年)に則って、火炉等の修繕状況の有無を確認したうえで工事費は必要最低限の補修予算とした。また、広域でのあり方については、今後近隣市町とも協議しながら進めていきたい。

問 消防施設整備補助金400万円の財源内訳は。

答 新設防火水槽設置に伴う補助金300万円。残り100万円を各地区のホースや格納箱等の補助にあてる予定。総工事費が約600万円以上となっているため、地元負担は約300万円となる。

問 小学校情報化推進事業について、教員のスキルアップの講習の内容は。

答 年8回、各学校で要望し、全教員が専門家より説明・指導を受ける研修を開催する。

問 町民プールの屋根を修繕した時の起債残高は。

答 今年度末の未償還元金は1億5148万3309円。なお最終は令和15年度。

問 令和3年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

要望事項 施設の老朽化に伴い、一般会計からの繰入れが平成29年度から徐々に増え、現在9160万円まできている。一刻も早く今後の方針を示されるよう要望した。

問 令和3年度養老町介護保険事業特別会計予算

要望事項 生活支援コーデイネーターの配置状況と、地域包括ケア会議の実施状況は。

答 生活支援コーデイネーターについては、令和2年8月まで町で1名配置していたが退職されたため、社会福祉協議会に業務委託するよう予算計上した。地域包括ケア会議については、現状できていないところもあるが、それも含めて進めていきたい。

問 ネクスト100プロジェクト事業について、PRR不足は。

答 東海三県については、常にPRRしている。今年度はコロナの影響で周知不足は否めないが、引き続き周知に励みたい。なお、現在、肉祭りでは、ネットアクセスが3万5000件あり、好評である。

問 消防用通信設備更新事業4543万円とは、今後の更新費用は。

答 平成27年3月に高機能消防指令センターが開所したことに伴い、令和3年度に部分更新するための費用。5年後には全体更新として2億5000万円ほどかかり、10年間で計3億円程度になる見込み。また、消防デジタル無線についても、令和4年度に部分更新があり、年間保守10年間で計1億4000万円ほどかかる見込み。

問 成人式事業について、地域商品券を出席者のみに配布する理由は。

答 成人式に参加した方と参加予定の方に、延期によって想定外の負担があったと想定されるため、手当てする形で支援するもの。

問 謝礼100万円を減額したが、今後の方向性は。

答 学習講座の講師方も含めて、来年度1年間かけて見直しを図っていく方向で、各公民館長とも協議を進めている。

問 残っている土地・家屋の件数と金額は。

答 2月末現在の件数は、分納誓約が12人(16件)。うち少額対応10万円以下は2件。徴収不能が6人(9件)。また、9月末現在の滞納金額は、5779万562円で、徴収不能を除くと3743万9890円。なお、徴収不能な債権については、顧問弁護士に委託している。

問 生活支援コーデイネーターの配置状況と、地域包括ケア会議の実施状況は。

答 生活支援コーデイネーターについては、令和2年8月まで町で1名配置していたが退職されたため、社会福祉協議会に業務委託するよう予算計上した。地域包括ケア会議については、現状できていないところもあるが、それも含めて進めていきたい。

